

I

1. 下線部(1)は文構造の理解と語彙力が求められる問題である。第1文は文脈の理解に基づいて、語句の意味を正しく訳出できているかを重視した。なかには、名詞を動詞と勘違いし、“to book translators”を「本の翻訳者に対して」ではなく、「翻訳者を予約する」と訳出している誤答が散見された。第2文はやや長い文章であるため、意味のまとまりの要素を正確に把握していることが鍵となる。この文の主部である“only 44 percent of English-language translations of fiction and poetry published in 2021”は、「2021年に出版された小説と詩の英語翻訳書の44%のみ」だが、「小説の英語翻訳書の44%のみと2021年に出版された詩」と訳出している解答が少なくなかった。

2. 下線部(2)の具体的な内容は、同じ段落の中の下線部以降に述べられている。過不足なくその内容を説明することが求められる(固有名詞は含まなくてよい)が、一部のみをこたえているものが多かった。また、特に“intention”という言葉の意味を誤って解釈しているものが多く見られた。一方、“channeling”という訳すことが難しい言葉もあったが、ほとんどの解答では筆者が伝えようとしていたことを理解し、工夫して説明できていた。

3. 下線部に続く二つの文の内容を正しく把握して、それをもとに説明することが求められる。二つの文のうち、より具体性が高い最初の文のなかでも、特に“bringing them to the attention of agents and editors”の部分を理解して、その内容が適切に日本語で述べられていることが重要なポイントである。多くの答案でこの部分の内容は正しく把握されていたが、“them”が何を指すかが理解できていない答案もいくつかあった。

4. 各文の構造を的確に把握した上で、文脈に応じて内容を適切に理解し、自然な日本語で訳されているかどうかを評価した。第1文の「the+比較級, the+比較級」の構文はよく把握できていた。第2文では、turn away, readership, assumeなどの語句の意味の理解が(動詞句では「誰が何を～する」のかの理解を含め)不十分であるために訳に苦労していると思われる解答が見られた。

5. Itの内容が、下線部(5)のある段落の1文目にある“recognizing translators”であることを理解したうえで、文脈に応じた適切な訳をすることが重要である。下線部前半では、“reckoning with”の訳に苦労している様子が見られた。文後半では、動詞“bring”を目的語“those parts”に合うよう、工夫して訳ができているかを評価した。

II

設問を正しく理解し、自分の経験を顧みながら自分自身で考える思考力に基づいて、豊かな英語表現力が見られることを重視して評価した。その際、標準的な英語の文法を用いて書かれているか（文の構造、動詞の時制、数の一致、定冠詞と不定冠詞の使い分けなどが主なポイントである）、適切な語彙やイディオムを用いて表現しているか、文章構成が適切であるか、スペリングなどの誤りがないか、という点も評価している。